

くむら新聞

2018年10月号
『発行責任者』
久村町内会 会長 山田 正和
新聞発行編集者 犬内 栄

災いが起きた時の為に

〔久村町民「老若男女」約100名が参加〕

9月7日(日) 好天候に恵まれこの日、田面防災部長を筆頭に毎年恒例の町内防災訓練が実施された。最近日本での被害では、熊本地震、台風21号による被害、北陸福井地方の豪雨災害、直近では北海道胆振東部地震による被害など、温暖化による災害と思われる被害が各地で発生しております。

災いがいつ起きてもおかしくない状況の中、当久村町内会でも、役員をはじめ、防災訓練に力を注いでおります。今回は、そうした中、①初期消火作業の訓練、②担架組立から搬送に至るまでの訓練、③車いすによる搬送訓練、さらに④怪我人の初期手当て方法を町内会館で、全員を対象に行われた。

町内会防災訓練



敬老慰安会

9月17日(月) 『敬老の日』久村町内会では、平成30年度の敬老慰安会を実施しました。

超少子高齢化が叫ばれる昨今2025年には団塊の世代が75歳を迎える時代になりました。2040年には60歳以上の占める割合が全人口の35%を超えるといわれております。

当久村町内会では、72歳以上を対象とした敬老慰安会は、271名の対象者のうち、91名が町内会の祝宴会に出席しました。お隣同士、心の心境などを語り和やかな雰囲気の中、昼食を獲得しながら、カラオケ、ダンスなどを披露され、午後1時過ぎ無事終了となりました。



見守り隊の慰労会

9月29日(土) 見守り隊の実施要領の見直しや、日頃の御苦労に感謝の意を兼ねて、慰労会を実施しました。翌日に大型台風を控えたせいか、参加人数は少なく20名を割る参加状況であった。参加者からの意見を総合的にまとめた結果、基本的な取り決めは次の通りとなった。

◇隊の目的(再確認) 本会は子供の見守りを主体とするため、名称は『見守りパトロール隊』《通称見守り隊》とする。
◇曜日設定について 月曜日と金曜日とする
◇該当曜日が祝日と重なった場合は中止とする
◇水曜日がパトロールが可能な人は、従来通りとする。
◇参加エントリーについては 連絡網で廻る順番が最後の方はエントリーを記入する際、都合の良い日程が埋まっているケースがみられ、廻る順番等今後の検討課題とする。
《会長より提案》
夜間パトロールについて、平成22年度を最後に、久村町内会の青年部および保存会が中心となって実施してほしい旨の要望があった。
この提案を踏まえ、今後のカ月の検討を経て実施に向けた、組織や、編成隊等の準備検討に入る。
会議終了後参加者全員で、事前に用意していた、お摘みやら、飲料水等を口にしたしながら、懇親を深めあった1日でした。

